

九鬼嘉隆と織田信長

九鬼嘉隆（1542–1600）は、伊勢志摩の覇権を争う海賊衆 13 氏族の 1 氏の頭領でしたが、他家からの攻撃によって先祖から受けついだ土地を追われました。その後、天下統一を目指す有力な戦国大名、織田信長（1534–1582）へと紹介されました。1570 年頃、信長の軍勢に加わった嘉隆は水軍司令官に任命され、信長の重要な戦いの多くに参加しました。嘉隆の武功の中でも、長島一向一揆を平定したことと、第二次木津川口の戦いで自ら設計した鉄甲砲船で敵艦隊を撃破したことは特に良く知られています。

多くの功績により、先祖代々の土地である鳥羽の領有を許された嘉隆は、信長が 1582 年に亡くなるまで織田家に仕えました。